

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

理由があった! 色々な物の色合いについて

2020年12月で開業62年。戦後の復興期から、スカイツリーが注目を集める現在まで、誰もが認める東京のランドマークである「東京タワー」が、何故“赤っぽい色”なのかご存知ですか? 印象的な紅白のカラーリングですが、実は赤色では無いのです。東京タワーは赤ではなく、**インターナショナルオレンジ**と白。航空法で定められた色です。例えば、羽田の近くにある煙突やクレーンみたいなものにも使われており、昼間障害標識と呼ばれていて、**飛行機が認識しやすい色**にしてあるそうです。

こうした普段目にしている何気ない物にも必ず“色”があり、東京タワーのように“配色した意味”があります。では、その配色にした意味について追っていきましょう!



踏切の遮断機

黄色と黒の組み合わせを一般的に「警戒色」と言います。黄色は進出色と呼ばれる色。こちらに飛び出したように感じる色です。対して黒は後退色、収縮色と呼ばれる色。他の色より向こう側にあるように感じる色のため、黄色と黒という組み合わせは前後の差が大きく黄色をより強く認識させることが出来ます。

また、踏切で使っている色はJIS規格で決められており、「赤」「黄」「白」「黒」の4色のみののです。

非常口



非常口が黄色や赤色等の警戒色では無く、**緑色**なのはなぜでしょうか。その答えは、実際の火災現場にあります。

赤い炎に包まれた中では、赤や黄色はかえって目立ちません。**赤色と正反対にある緑色を非常口に採用すれば、火災現場でも目に留まりやすいのです。**

また、緑色には心を落ち着かせる効果があるため、火災のような非常事態でもパニックに陥らずに避難誘導できると言われています。

なぜ?
どうして?

サッカーボール



昔のサッカーボールは茶色の革が使われていたのですが、無地の白黒テレビが主流だったため、中継の際に当時のサッカーボールだと色が白く飛んで見えにくいという問題がでてきたのです。

白黒のボールは、白く飛んで見えづかった茶色のサッカーボールと違い、白黒テレビでも2色ハッキリ見ることができました! そこからサッカーボールは白と黒の2色となりました。

配色の7ヶ

点字ブロック



視覚障がいの方が利用する点字ブロックの色は、黄色で統一されています。そもそも目が見えない方を対象にして設置されたブロックですが、ここにも黄色にする意味がちゃんとあります! 視覚に障がいを持っている方でも全く目が見えない全盲者と、かすかに視覚がある弱視者がいらっしゃいます。**黄色は「弱視者」の方でも視認しやすい色**であり、点字ブロックの色も目印にして、安全に歩いて貰える事を目的としています。

上に挙げた4つの例の様に、**カラーには文字だけでは伝わりにくいイメージを膨らませる力**があります。こうして普段目にしているものは、受取る側への配慮で配色されています。身の回りの物の色を意識してみると、新しい発見があるかもしれませんね!

デザインの種

今回のテーマ：
「どんな色で何が伝わる？」

下の印刷物は受取る側にどんなことを伝えたいのでしょうか？どんな色を使えば、受取る側へ感情やイメージ・情景を伝える事ができるのでしょうか？実際のポスターを見ながら考えてみましょう！



色のバランスは
悪くないけれど...
もっと

- ・明るく元気
- ・楽しそう
- ・ワクワクする

こんな雰囲気を出したいなあ...



今回作成したのは、子ども向けのワークショップ開催を知らせるポスター。色合いは悪くないのですが、「子供向け」や「楽しいイベントである事」を伝えたいのに、少し落ち着いた印象を受けてしまいます。

ではこの場合、どのような色を使うと思いが伝わるのでしょうか？

「子供らしさ」や「楽しさ」を伝えたい場合は、**明るく濁りのない色**を他色使いする事でイメージが作れます。また、**黄色やオレンジ色**には「**活発さ**」「**明るさ**」を連想させる効果があるので、この2色をメインに使用するとイメージが作りやすくなるのでオススメです！

パッと見ただけでも、
子供向けの楽しそうな
イベントなのが伝わるね！



イロイロ雑学

皆さんはお城の色が黒色と白色2色のお城が存在することをご存知でしょうか。実は、単なる好みではなく白・黒どちらの色かによって、どの時代に築城されたかがおおよそ分かるのです。

◎黒い城◎

豊臣秀吉の時代に築城されたものが多い



太閤秀吉の時代に「黒い城」が好んで築城された主な理由は「敵の目から隠れやすい戦国時代ならではの利点」による、といわれています。いつ敵の襲来があるかもわからない戦国下、鉄砲戦を行うのに有利な漆黒の色使いであったことも、「黒い城」が好まれた理由とされています。

◎白い城◎

徳川家康の時代に築城されたものが多い



白色（はくしょく）の色の特長から優美さを演出できる利点がありますが、加えて、膨張色である白が城そのものを大きく見せる効果があったからともいわれています。その他にも、関ヶ原の合戦で勝利をおさめた家康が、徳川時代の到来を世にアピールする狙いをこめて、「黒」の対称色である「白」を選択したのではない、という説もあります。

色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も

Let's カラコミュ!!